



河小だより



四日市市立河原田小学校
学校通信 第23号
令和4年 10月 7日(金)
文責 校長 鳥居 純樹

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策のため、保護者の参観を交代制とし、半日開催での運動会としました。保護者の皆さまにはご家庭での参観人数を2名と制限させていただきましたが、ご理解いただき、ご協力いただいたおかげで、子どもたちの生き生きとした姿を参観していただくことができました。子どもたちも練習の成果を十分出し切り、最高の運動会となりました。

最高の運動会

代表委員会のみんなが決めた「みんなで全力を出し、協力し合い、楽しもう！」運動会スローガンのとおりみんなが全力を出し切り、最後まで全力で取り組めた最高の運動会となりました。

秋晴れの下、子どもたちは練習の時以上に笑顔で最後まで演技をすることができました。徒競走では、最後まで自分の力を出し切り、表現運動では、友達と動きを合わせることを意識していました。ともにやり切ったという表情がみんなにあふれていました。



【開会式・閉会式】

代表委員会の子もたちが進行してくれました。開会や閉会のあいさつでは、みんなの思いを代表して運動会への決意を話しました。また「誓いの言葉」では、全力で取り組む決意を発表しました。

【3・4年】

3年生、4年生の徒競走、表現運動が最初の参観種目となりました。徒競走では、ゴールテープまでしっかり走るように意識して走っている姿が素晴らしかったです。友達を意識し最後まで力を抜かずに走り切ることができました。



表現運動「カラフルワールド」では、腕の飾りがカラフルでした。冒険の世界を表現し、途中戦いながら、子どもたちが冒険していく様子が表現されていました。子どもたちの表情は戦うときは真剣に、冒険するときには勇気を出して笑顔で楽しみながら表現できました。



【1・2年】

1・2年生の徒競走は直線での50m走です。1年生の子どもたちにとっては、初めての運動会でした。出発のピストルにびっくりしながらも全速力でゴールまで一直線で走り切りました。



表現運動「河っ子NINJA☆参上」では、黒い衣装に身を包み、静かに

颯爽とたくさんの忍者が参上しました。低学年の忍術に見ている人は魅了されていました。まるで忍法「感動の術」のようでした。よく見ると大人の忍者も登場し、みんな修行した成果を発揮できました。



【5・6年】

5・6年生は、運動会がスムーズに運営できるように係活動でも活躍してくれました。6年生は、1年生の見学席の椅子の移動も手伝って時間通り開催できるように仕事に取り組んでくれました。

徒競走では、100m走でした。高学年の子どもたちは体も大きく、迫力ある走り最後まで精いっぱい走り抜けることができました。順位にこだわる子どもたちもいましたが、みんなが力いっぱい走り切ることができました。

表現運動「いつだって大丈夫！つなく、つながる、つながっていく」では、コロナ禍での悲壮感、みんなとつながっていく大切さを演技で表現してくれました。つながることでみんなが笑顔になる姿が印象的でした。河原田のみんなならどんなことでも乗り越えていける力を感ぜられる演技でした。6年生にとっては小学校生活最後の運動会となりましたが、一人一人が全力で取り組むことができた運動会でした。



本部役員さんを中心にPTAの皆さんには運動会の準備や片付けをすすんで手伝っていただき、大変お世話になりました。また駐車場の整理や保護者の入れ替えなど大きなトラブルもなく開催できたことは、PTAの皆様の協力なくしては考えられません。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。また保護者の皆さまには入れ替え制など感染症対策にご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。

